

日本屈指の透明度を誇る海を活かした
企業誘致・リモートワーカー誘致
～人材開発プログラム・モニターツアー
共同開発プロジェクト～



鹿児島県瀬戸内町

瀬戸内町の紹介

鹿児島県本土から南西に約450 km、沖縄県とのほぼ中央に位置し、奄美大島の南部と加計呂麻島・請島・与路島で構成されている。

日本で唯一、一つの町で海峡を有する風光明媚な海洋のまち。



アクセス

・飛行機（奄美空港）

羽田空港（JAL）1日1往復、約2.5時間

福岡空港（JAL）1日1往復、約1.5時間

鹿児島空港（JAL）1日7～9往復、約1時間

・フェリー

鹿児島新港～名瀬港（A“LINE、MARIXLINE）毎日運航 約11時間

名瀬港～古仁屋港（A“LINE）月20運航 約2.5時間

・バス（空港からの島内移動）

奄美空港～古仁屋 約2.5時間

実施可能な研修について

現地コーディネーターと協議しながら、研修内容を一緒に検討

【SDGsを通じた企業価値向上】

海洋資源（ブルーカーボン）を活用した温暖化防止対策やブルーエコノミー活動を通じて、参加者や瀬戸内町の企業とともに取組みへのしきみを考えたり、課題解決につながるビジネスマッチングなどを検討する。

※瀬戸内町は「ゼロカーボンシティ宣言」自治体。

【ダイバーシティ研修】

障がい者と健常者が共に楽しめるマリンスポーツ総合施設「ゼログラヴィティ」と連携し、宿泊も含めた障害者のワーケーションを通じて多様性を肌で感じるプログラム。

誰一人取り残さないというSDGsの理念を学ぶ。

【チームビルディング】

透明度抜群の奄美の海で、チームを組んでマリナクティビティに参加することで、楽しみながらの学びや仲間との繋がり、そして感動を得るプログラムを共同検討。要望に沿って内容をカスタムすることも可能。

【ブルーキャンプ】

SDGsにおけるゴール4.7（持続可能な開発のための教育）に沿って、従業員だけでなく家族（小学校高学年～中高生）を対象にSDGs（持続可能な開発目標）を軸としたリアルな体験による学びを提供する。



ワーケーション・宿泊施設の紹介

すこやか福祉センター“HUB”

(2021年12月開業)

- ・オンラインミーティングに対応
- ・Wi-Fi、ブースなどを設置
- ・バケーションを楽しむための地元コンテンツの紹介



清水ヴィラ/ゼログラヴィティ
奄美大島南部の美しい湾を臨む、優雅なロケーションの隠れ家的ヴィラ。
※障がい者と健常者が安心してマリンスポーツを楽しむこともできる。



ライブストイン奄美

加計呂麻島を望む瀬戸内町南部古仁屋中心に位置しダイビングスポットや国定公園観光名所へのアクセス良好なホテル。

※上記はいずれも候補地となります。

企業版ふるさと納税を活用する意義

- 共同検討したモニターツアーは一般公募型だが、寄附した企業様からの参加も可能
※現地でのビジネスマッチングの機会にもつなげていただきたい
- 自治体との新たなパートナーシップの構築
(社会課題分野における事業展開等)
- 地域のワーケーション(関係人口拡大)に寄与することで
地方創生へ貢献(SDGsの達成)

【寄附の使い道】

いただいたご寄附は、下記の用途で使用させていただきます。

- ① ツアーコーディネート代
- ② 提供コンテンツ費
(人材開発プログラム・現地体験アクティビティなど)
- ③ ツアー内での移動費・飲食費・宿泊費
- ④ ツアー参加者向け現地プレミアム商品券

さいごに

瀬戸内町独自の資源や強みを一緒に見つけ、
ワクワクしながら、新しい事業を進め、
本町のまちづくりに是非とも
貢献いただけませんか！



鹿児島県瀬戸内町
企画課産業立地係 佐多
0997-72-1112
sangyou-r@town.setouchi.lg.jp